



ボランティアをしたい人と、してほしい人をつなぐ

# 浜松ボラセンだより

20号  
2024.1

発行 / 社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会 ボランティアセンター

## 「福祉ふれあいフェスタ」の開催

～ 地域福祉やボランティア活動への関心・理解を ～

市民の皆さんが、地域福祉やボランティア活動に関心を持ったり、理解を深めたりすることを目的に、昨年12月16日（土）、浜松市福祉交流センターで開催されました。

1階「交歓の広場」のステージでは、ボランティア団体のみなさんが、施設やサロンなどで行っている歌やマジックなどを来場者に披露しました。

また、3、4階では、日ごろのボランティア活動の様子を紹介する展示や体験コーナーを設けて、来場者への説明や体験のお手伝いをしました。



バルーンアート



クラウンによる大道芸



触手話体験



ストラップ作り体験



手話を学ぶ

## ボランティア団体 紹介 10

ボランティアビューローを利用し活動されているボランティア団体を紹介しています。第10回は「浜松市災害ボランティア研究会」さんです。

### 災害への備えを市民目線で伝える “浜松市災害ボランティア研究会”

「災害時、どんなお手伝いができるのか」、「日ごろ、自分の関心のあるテーマで防災について学んでみたい」。こんな仲間が集まって活動しています。

#### ■ どんな活動をしていますか？

##### 1 防災の備えについての研究

「簡易トイレを使いやすくしたい」、「非常食をおいしくしたい」など、私たちは日ごろ、災害への備えについて、一人一人テーマを持って研究し、月一回の定例会で、その研究の成果を紹介し合っています。

##### 2 防災展示や出前講座などの啓発活動

一人一人の研究成果をもとに、「福祉ふれあいフェスタ」をはじめとする出前講座などで、啓発活動に取り組んでいます。啓発活動では、「耳をすまして、小さな声を拾う」よう心がけています。

#### ■ この活動の魅力は？

啓発活動を通して子供連れの方、障害のある方、高齢者の方など様々な方と接し、展示や説明について意見や感想など、生の声を聞くことができます。そうした声に耳を傾け、次に生かすことで、活動をよりよいものにしていくことができます。それが、この活動の魅力の一つです。

#### ■ 「浜松ボラセンだより」をお読みのみなさまへ一言

災害への備えで大切なことは、「自分や家族にとって本当に必要なことは何か」という目で、自分の家の備えを見直すことです。

災害への備えについての出前講座をご希望の方、一緒に啓発活動に取り組みたい方は、ご連絡ください。

〈連絡先〉浜松市災害ボランティア研究会 代表 竹田 和秀 090-8866-2533

平日は、午後6時から10時まで



展示ブースでの来場者への説明



来場者と段ボールスリッパを作る